

# 磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四  
編輯兼發行人 岡田弘成  
印刷所 石城郡平町紺屋町十四  
電話 二二二  
廣告料 一行十四字 一月五拾錢  
日刊(日曜、祭日) 休刊

## 赤井の後任村長は 結局草野三郎氏が

### 草野、田久提携説 選舉村會は十八日召集

石城郡赤井村長後任問題の反目表面化するにつれ同地方民政派  
兵衛來依然として續けられ前縣に分裂を來す結果となるので同  
議若松美三派、過般の選舉に立派では選舉の結果が不首尾であ  
候補せる草野三郎派及び前村長 田久の提携を憂慮して居  
田久派の三派がそれと策 向は村長選舉の村會は來る  
動をめぐらしつゝあり、落選の 十八日開催する筈である。

## 勤續教員

表彰された  
石城郡教育會秋季總會は八日  
會の分野は若松五、草野三、田  
久三となつてゐる。然し昨今草  
野、田久兩派が提携したとも傳  
へられ成行き非常に注目されて  
る。一方若松對草野の抗争が  
(磐城校) 田久徳次郎(小川)

## 築港問題の妥協案を 四倉町會で修正

### 歩合金を二倍にする 漁業組合でも承認せん

四倉漁港修築費地元負擔金問題の水揚げ歩金問題を除き他は  
について町と漁業組合が魚市場全部縣の妥協案を承認し第三條  
の經營をめぐつて紛糾してゐるの水揚げ歩金は妥協案では百分  
ことは屢報の如くであるが、五の一となつてゐるが、町當局は  
日縣は兩者に對し既報の如く四之を百分の二に修正すべしとい  
ケ條の妥協條件を提示した。こふ案を立て八日午後一時から役  
れに對し四倉町では七日午前九時於て組合側と交渉すること  
時急施町會を開き四ヶ條中第三になつたが、大體町當局の修正

## 箱崎君も 名譽の戦死

### 玉川村出身兵

滿洲守備隊勤務一等卒石城郡玉  
川村小室箱崎光(二三)君は通遼  
附近の戰團に生死不明であつた  
が、同君は十月五日第一線の裝  
甲列車に乗込み敗殘兵を掃蕩し  
黒木伍長以下七名と共に敵を追  
撃して遂に重圍に陥り奮闘の甲  
斐なく衆寡敵せず名譽の戦死を  
遂げたこと判明し六日四平街守  
備隊通信班より實家へ通知があ  
り同家より更に若松憲兵分隊へ  
通知狀の寫しを送つて來た。

## 試験場で獎勵

### チュウリップ栽培

農事試験場石城分場では農家の  
副業として收穫後の水田に裏作  
としてチュウリップの栽培を奨  
める事になり今明日中にこれが  
獎勵に關する趣旨書を各町村農  
會宛に配布するが稲田分場長は  
チュウリップの植付(球根植  
付)は十一月中旬が最も適し  
た時候であり、明年六月迄に  
は全部收穫が終り水田裏作と  
しては極めて有望、殊に販路  
は切花或は球根として廣く一  
般に求められるから水田利用  
の副業ではこれに越したものは  
ない。

## 奇篤な行爲三件

### 輕薄なこの世の清涼劑 感心な軍人と老婆

人情浮薄の世の中の龜鑑とす  
るに足る奇篤な行爲三件  
石城郡好間村の出身の朝鮮咸  
鏡第七十四聯隊の一兵士より  
七日村役場に匿名で「われわ  
れに對して郷里の人々が擧つ  
て金品を贈つて下さることは只  
々感謝のほかありません。わ  
れは勇氣百倍して御國の  
ため盡して居りますが、郷里  
には不景氣のためその日の生  
活にも困つてゐる人々がある  
といふことを下さるから、さうし  
た人々にこれをやつて下さい  
」とされたため金五圓の爲替  
券を送つて來た。村當局では  
感心な兵隊さんとして直ちに  
聯隊本部に對して調査の上表  
影して居るやう通知した。に  
おいては昨年に比較し多少劣  
なり且り薄給を貯金し平警察署  
員高田清二君は今日まで數回  
に亘り薄給を貯金し平警察署  
を通じて地方貧困者に惠んで  
たが、九月又々平署に金四圓  
を送つて貧困者救済金に加入  
して貰ひ度いと申し込んで來  
た。坑夫四百名を新たに採用さ  
れてゐることである。

## 石炭需要期に入り 常磐炭礦活況

### 僅か一ヶ月の間に 坑夫四百名を採用

需要期に入った常磐各炭礦では  
無補は振れず不便を感じな  
がらも結局處分に甘んじる事  
に最近著しく活躍を見せ送炭  
率から結局處分に甘んじる事  
に最近著しく活躍を見せ送炭  
率から結局處分に甘んじる事  
に最近著しく活躍を見せ送炭  
率から結局處分に甘んじる事

## 平電話の通話停止 現在三十名もある

### 第三期分の滞納のため

通話料の納期毎にたとへ三名で  
も五名でも通話停止處分を見  
れば気が済まぬ平局の電話料  
滞り止めを喰つて現在に及んで  
徴收成績は頭不の字を冠せら  
るゝ程良好でないものであるが  
入者の便を計り通話停止をせぬ  
殊に十月三十一日限りを以つて  
納附する第三期分の如きに至つ  
ては財界不況の刺戟が殊に甚だ  
みてゐるが、加入者としては全  
體三郡教員野球大會決勝四倉校

## 受付開始

昭和六年度平局電話共同線及連  
接加入申請受付は來る十一月十  
日より十一月十七日迄七日間午  
前九時より午後四時迄受付ける  
が、設備費として共同線加入  
金八十圓、連接加入は金六十五  
圓、外に登記料として共同線加  
入は金拾圓を、又連接加入は金  
四圓を要する。

## 軟式野球

### マルトモ主催

平町四町目マルトモ柴田書店主  
催平町軟式野球大會は二十二日  
二十三日の兩日平町警中、平商  
業兩校庭で舉行する。

## 結核豫防の 宣傳映畫

健康増進會中平警察署では結  
核豫防映畫「光明」(四卷)を左  
の場所で見せる。

## 模型飛行機競技

石城郡内郷村模型飛行機研究會  
主催模型飛行機競技會は八日午  
前十時から高坂グラウンドで舉行  
參加三十四機一等はタイム三  
十六秒同村大宇小島伊藤三郎  
二等小嶋一巳、三等大瀧儀一、  
四等佐藤忠一、五等中郷利八の  
各君であつた。

## 逃走藝妓

懸賞五十圓  
石城郡植田町宇植田藝妓屋福本  
事小林ひて方藝妓鈴香事仲野  
ふみ(二三)は去月二十七日行衛  
不明になつたので懸賞金五十圓  
を附し搜索方を願ひ出た。

## 教員野球

四倉校勝つ  
平野球聯盟主催平野球リーグ  
戰は七日、八日の兩日平町警中  
平商業校の二ヶ所で舉行した  
結果左の如く、次回は十五日舉  
行の筈である。

|     |     |    |    |
|-----|-----|----|----|
| 平 日 | 12  | 2  | 遊友 |
| 平 日 | 19  | 16 | 鐵道 |
| 平 日 | 22A | 21 | 遊友 |
| 警 中 | 11  | 8  | 鐵道 |

マダ御使用ニナリマセンカ  
堅牢ト能率ノ上ル三公式ヲ

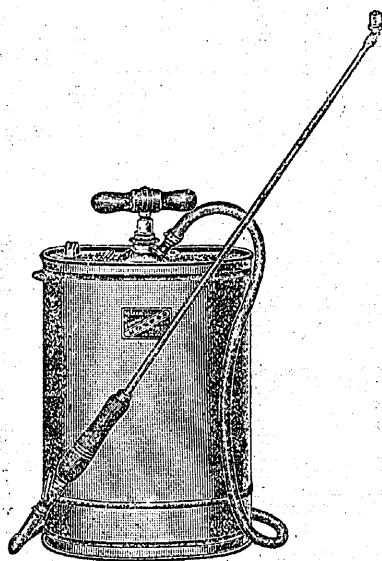
優秀ナル構造ト  
特長アル三公式噴霧器

瓶用文化噴霧器ニ

(ビンナシ)

特價九十錢

器霧噴式掛肩  
付スーホムゴ入布枚三  
(入升五) 錢十五圓八價特



釜屋商店

電話九九番

平町五丁目

貨切は

セダン捕ヒデ  
乗心地ノヨイ

皆様ノ昭和タクシーへ

電話三四三番

滋養、強壯劑として愈々好評  
偉大なる薬酒「粟守酒」

朝の一盃は精力の原、晩の一盃は睡眠の助力

粟守酒特約店 大平屋薬店

代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目電話四六二

専門内科一般

〔内科ハ何デモ診療致マス  
呼吸器病バカリデハアリマセン〕

平町南町六五改(電話一八二番)

川井内科診療所

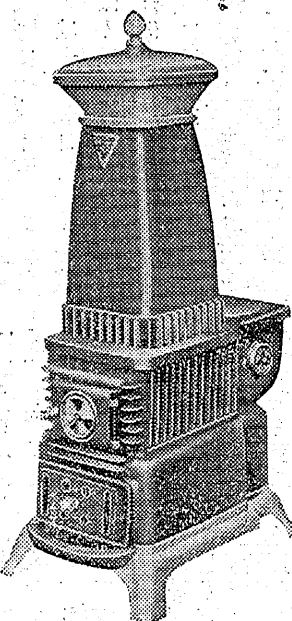
醫學士 川井重子  
女醫 川井安子

◎石炭經濟ノ理想的ストロブ

ソレハ石炭商ノ立場ヨリ  
多年研究試験ノ結果

◎フクロクストロブ

ニ優ルモノナシ



◎ストロブ御買入ノ際ハ

是非御相談下サイ  
カタログ持参御説明申シ上マス

電話二三三七番

阿部石炭商店

債券、公債、兩替金融

多田井質店

平町大工町(電話五九二番)

大藏大臣 評免  
**磐城無盡**  
銀行共栄  
誠意 堅實

**腸胃** 専門  
内科 腸胃病 胃性  
松村  
**梅毒** 専門  
皮膚病 淋病 婦人病  
院醫科 腸胃病 胃性  
村松  
(七〇一醫院) 町南町平

カクテール  
イキタヒラ、テン352  
**レストラン サロン**

ラヂオは224時代  
スクリンドグリト級  
使用ラヂオは特殊高級  
ラヂオに扱へたる  
に今や大衆を指し  
品質宣傳の爲め英斷  
的破額にて提供致し  
ます

分離受信  
混信遠距離

使用球

|      |    |
|------|----|
| 一一二B | 一ヶ |
| 一一二A | 一ヶ |
| 一一三七 | 二ヶ |
| 一一三四 | 一ヶ |

附屬一切取付工事共七十五圓

224受信機に改造は弊店の特色

實用型三球式 二十五圓

實用型は値段安く平町驛前

富永ラヂオ店

御下命願ひます  
電話四九六番

内科 小兒科  
花柳病科 (入院應需)

藤沼醫院

平町紺屋町  
電話平圓五〇七番